

消防行政の動向～稲城市消防本部からの情報提供～

1 平成 31 年度中の火災状況

(1)火災件数、焼損床面積

平成 31 年度中の火災件数は 21 件で前年度の 26 件から 5 件減少。

焼損床面積は、71.00 m²で、前年度の 158 m²から 87 m²減少。

※種別：建物 5 件、その他 16 件

(2)火災による死傷者の状況

火災による死者は平成 29 年以降発生しておらず、負傷者につきましては、平成 31 年中に 1 名発生。

(3)出火原因別の状況

平成 31 年度中の主な出火原因別の火災発生状況をみると 1 位は「放火、放火の疑い」、2 位は「たばこ」、3 位は「ストーブ、電気配線等」。

2 主な各種届出等処理状況

(1)消防用設備等点検結果報告届出 486 件（昨年度 588 件）

(2)消防訓練実施（結果）報告 711 件（昨年度 674 件）

(3)消防計画作成（変更）届出 194 件（昨年度 212 件）

(4)防火・防災管理者選任（解任）届出 183 件（昨年度 167 件）

【主な点検結果における指摘事項】

①自動火災報知設備の感知器不良

②消火器点検未実施

③誘導灯のバッテリー不良

3 防火対象物立入検査実施状況

（R2. 3. 31 現在の稲城市の防火対象物数 1806 件）

(1)実施件数：194 件

(2)主な指摘事項

①防火管理者未選任

②消防計画未作成

③消火・通報および避難訓練未実施 等

4 消防訓練等実施状況

・ 711 件実施（平成 31 年度中）